

## 【②頭皮の“神経痛”も後頭部の頭痛の原因です】

後頭部の頭痛としては、緊張型頭痛の次に多いといわれています。

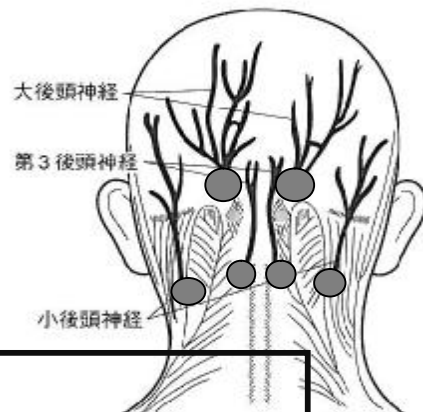
下の図の黒い枝は、後頭神経(頭皮の神経)といいます。この神経は、首の骨と骨の間を通過して、●の部分で頭皮の表面にひょっこり顔を出し頭皮の表面を這うように走ります。この神経が、肩や首の筋肉のこりや、首の骨の異常で圧迫されたりすると、後頭部の頭痛の原因となります。これを、“後頭神経痛”といいます。むち打ちや後頭部打撲後にこの頭痛が後遺症として残ることもあります。

### ＝頭痛の特徴＝

- 耳の後ろや首の後ろから頭のとっぺんに向けて、電気がビリビリッと走ったように鋭く痛む。じわじわ痛みが強くなる緊張型頭痛とは痛みの始まり方が異なる。
- 後頭部に鋭い痛みが数秒間続いた後、鈍痛やしびれが残ることが多い。
- 頭痛がある時に、目の奥の痛み、目のまぶしさを感じることもある。

### ＝自己診断方法＝

頭痛がない時でも、●の部分を押さえると痛みが走るのが特徴です。一度御自分で押してみてください。



### ＝治療法＝

- ・ビタミン B12 の注射や内服は、50%以上の人に有効です。
- ・●の部分に局所麻酔(神経ブロック)を行うこともあります。
- ・抗てんかん薬の内服など

## 【頭痛だと思っていたら“帯状疱疹(ヘルペス)”だった！】

頭皮の一部にピリピリ痛みがあり頭痛だと思っていたら、1～4日後にプツプツと赤い発疹や水ぶくれが出現した場合は帯状疱疹である可能性があります。帯状疱疹は、かぶれや虫刺されと思い放置してしまうと、厄介な神経痛を後遺症として残してしまうので、発疹がでてからなるべく早く(3日以内)に抗ウイルス薬の内服と塗り薬の処方を受けてください。